

2026 年 7 月 31 日

「扉を開けてさあゆこう！」

高知県高坂学園生涯大学学長 奥田一雄

唐突ですが、高知県高坂学園生涯大学はいわゆるシルバー大学やシニアカレッジなどとはかなり違っているように思います。でもここでは、両者の相違点をいちいち挙げていくことはしません。むしろ、生涯大学がもつ三つの特性、すなわち、実践と継続および発信の中身に注目します。そうすることで、私たちの高坂学園生涯大学の独自の姿とありようが浮かび上がってきます。大事なことは、この生涯大学で学んでいる学生がごく普通にいつものように自然体で振る舞っているとき、それをはたから見ると、実はその情景がとても楽しく素敵ですばらしい生き方・営みであるということがわかるからです。

一つ目は実践です。高坂学園生涯大学にいる学生はみんな六十歳以上の高齢者ですが、単に講義を聴きに來ているだけではありません。誰もが程度の差こそあれ、何らかの形で大学の業務を担当しています。具体例を挙げると、新入生の募集から始まり、まずは授業を担当する講師を決め、年間カリキュラムを作成するという要となる業務があります。そして、毎回の教室の準備と講師のお世話、学生のお弁当の手配と配布を分担します。加えて、学外研修や忘年会の企画・実施、入学式・修了式の準備と進行、さらに会計処理までも含みます。このような大学の多岐にわたる業務の全部を学生自身が分担・協力し合って進めています。つまり生涯大学では、自分で大学を動かし、自分で学びの場を作っているのです。自主的に大学の運営に関わることで、自分の居場所ができ、その中で色々な人と触れ合い、その結果、自分はみんなの役に立っているのだと生きがいを感じる学生が実際たくさんおられます。私はそれを目のあたりにし、生涯大学の活動はまさしく高齢者自身による社会参画と福祉の実践そのものではないだろうかと考えています。

二つ目は継続です。高坂学園生涯大学は 1982 年に創立されて以来、今年で四十四年となります。創立当時の「開校趣意書」には、激変する現代社会の渦中で我々老人が生きがいのある充実した生活を送るために、能力を再開発し、教養を高め、老人福祉の増進を図る、という決意が謳われています。その内容は現在でも色褪せず、むしろ生涯学習と高齢者福祉の必要性はいっそう増すばかりです。生涯大学を立ち上げたときに、学生の自

主運営組織という他に類例を見ない独特の方式を編み出された先達の方々の先見の明と慧眼は素晴らしい。そして何よりも大切なことは、これまで四十四年間ずっとその時々を担ってきた先輩学生諸氏が、このような卓越した創立の精神と運営方式、伝統を中心軸として受け継ぎ、たゆまない情熱を注ぎながら、この生涯大学をしっかりと継続・つないできたことです。

三つ目は高坂学園生涯大学から社会への発信で、最近になって取り組み始めた活動です。生涯大学は一言で言えば、色々学べてとっても楽しいところ、生きがいを感じる拠り所です。そんな素晴らしい生涯大学を他のもっと多くの人に知ってもらいたい、伝えたいという意識・意欲が学生の中で高まってきました。生涯大学を積極的に社会へアピールする機会を作る目的で、昨年は初めて公開講座を開催しました。前座で学生が生涯大学を紹介する発表も行い、多くの一般市民の方々に参加いただきました。そして今年の公開講座は、全校学生が集まってのサマースクールをやりたいという学生からの提案をベースに企画しました。生涯大学の授業はクラス別で行なっているため、よその組の学生同士が知り合う機会はほとんどありません。それで、今回は生涯大学を構成する六つのクラスの学生が一般市民の方々とともに一同に会し、公開講演授業を受講するという初めての試みとなりました。一般市民の方々には生涯大学の授業体験、同時に生涯大学の学生同士の出会いと交流の場となります。また一方で、昨年は高齢者の福祉文化に資する取り組みを顕彰する制度に応募し、高坂学園生涯大学が全国的に高く評価され、表彰されるという栄誉をいただきました。

私は、自分の講義の合間や学外研修、忘年会の折に、学生とお話ししているときにしばしばはっと気づく瞬間があります。ジブリアニメでは、豚の顔をした飛行士が一瞬、未来へ想いを馳せる青年の顔になったり、正直で素朴なおばあさんがふとしたときに少女の顔に見えたりする場面が現れます。それとまったく同じように、生涯大学の学生の姿や顔がかれらの青春時代のそれに変わる瞬間があるのです。これこそが高坂学園生涯大学の本当の姿・ありようを象徴しているように思うのです。

高坂学園生涯大学の学歌「扉を開けて～共に学ぶ 友と学ぶ～」の一節に、「扉を開けてさあゆこう！新たなページに夢描こう」とあります。生涯大学の学生は今日もどこかの教室で友と一緒に楽しく笑い声を響かせ、好奇心と夢でいっぱいのページを創っていることでしょう。

以上